

# 小細胞肺癌

# CBDCA+VP-16+アテゾリズマブ療法

限局型/進展型 小細胞肺癌 カルボプラチン+エトポシド+アテゾリズマブ療法レジメン

LC-49

総コース数

<21 日間隔：1コース～6コース>

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第4～21日目	第22日目
治療内容							
検査	採血	○					○
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①WBC<5000 or Neu.<1500						
	②血小板<100000						
点滴	③発熱・CRP上昇						
	④PS 2以上						
	⑤G2以上の肺臓炎						
	⑥副腎クリーゼの疑い						
	⑦G3以上の皮膚障害・神経障害						
	⑧AST、ALT>5×ULN						
	⑨T-Bil>3×ULN						
	⑩G2以上の下痢						
点滴	⑪甲状腺機能障害の疑い						
	⑫白血球感染症の発症疑い						
	① 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	②生理食塩250ml +テセントリク 1200mg 点滴静注 【初回60分,以降30分】 フィルター付きルートで	↓					↓
	③ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	④生食100ml +アロカリス 1V +パロノセトロン 1V +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】	↓					↓
	⑤生理食塩液 100ml +デキサート 3.3mg 2A 点滴静注【30分】		↓	↓			
	⑥生理食塩液 500ml +エトポシド 100mg/m2 点滴静注【90分】	↓	↓	↓			↓
⑦生理食塩液 250ml +カルボプラチン AUC=5 点滴静注【1時間】	↓					↓	
⑧生理食塩液 50ml 点滴静注【全開】	↓	↓	↓			↓	

## 看護のPoint!!

骨髄抑制と脱毛が起こりやすい。

特にエトポシドは血管外漏出すると大変!!点滴中は漏れてないか確認。

万が一もれていたら一旦中止して先生を呼ぶ

強力なステロイド軟膏を塗るならクロベタソールフロピオン酸エステル軟膏

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用(止痢剤ではない。大腸炎のため)